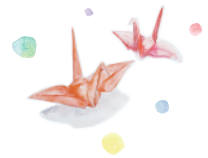


# 矢野弾先生から学んだこと

2022年3月19日、弊社顧問の矢野弾先生が89歳で旅立たれました。出会ってから20年以上のお付き合いになりましたが、矢野先生からは大変多くのご指導をいただきました。なにより顧問として、キャリアコンサルティングの企業風土・文化の構築に多大な影響を与えてくださいました。今回は矢野弾先生から学んだ、指導者としての在り方を振り返ってみたいと思います。



## 矢

野弾先生はお父様とお兄様が1958年に立ち上げた、日本で最初のマーケティング会社「矢野経済研究所」に設立から少し遅れて入社されました。晩年は自民党の世田谷総支部長などを歴任、多くの若者に支援をしてきました。開戦時の大蔵大臣、賀屋興宣先生が1964年に創刊し、現在でも衆参両院の国会議員に配布されている『月刊カレント』の発行にも尽力し、株式会社潮流社の社長を約20年務めました。各界の一流の方と親交が深く、私も安倍晋三元総理をはじめ、財界、経済界、政治家の方々をご紹介いただきました。矢野先生との出会いは、30歳の頃知人の紹介で参加した二水会という異業種の経営者10名ほどの勉強会でした。今でも愛読している『現代の帝王学』（著…伊藤肇）もこの勉強会で教えていただきました。初対面のときの自己紹介では、良いところを見せようと威勢の良い話をしたところ、背伸びをしていることを見抜かれたのか、とても薄い反応をされました。今でも苦い思い出です。それからは、ありのままに勝負で

きるように自分磨きをしようと決意しました。その後、矢野先生が矢野経済研究所からご自宅へ書籍などをお引越される際、お手伝いをし、ご自宅で奥様からお礼にお願いしい料りを振る舞っていただきました。そのお料理を人の倍ほど平らげたことで喜んでいただいたのか、少しずつ交流も増え、当社の顧問や「くにもより演説大会」の審査員も務めていただき、より多くのことを学ばせていただきました。

## 数

ある矢野先生からの学びの中でも印象的なのは「品格」をととても大切にされていたことです。

毎月講師を招き、経団連会館で開催していた『未来を考える会』では講師・参加者に分け隔てなく、誰に対しても律儀で丁寧な応対をしている姿を見て、矢野先生のようにならなりたいという気持ちになりました。

自己管理も徹底しており、健康のために禁煙を決意して成功。お酒も「乾杯のビールだけ」を生涯貫いていました。九段下の

オフィスにお越しいただくときは有楽町から40分ほど歩いてきたというお話を聞いて、元気の秘訣は歩くことだと教えてもらい実践するようになりました。

先生からいただいた「分母を地球にして考えなさい」という言葉は、今でも私の行動指針になっており、しがく式に「公精神」というテーマがあるのは、矢野先生の教えがあったからです。

そして、矢野先生といえれば力強いスピーチ。マーケティングだけあって数字に強く、博識だったので歴史、世界の話が必ず出てきて、とても説得力があったことを覚えています。先生が話すときの空気が変わり、こういうスピーチができるようになりたいとお手本にさせてもらいました。

矢野先生は、旅立たれる前日までスーツを着て仕事をされており、まさに生涯現役を貫き通されました。

世界、日本の未来を憂いて、世の中に少しでも貢献しようと生涯戦い抜いた矢野弾先生の志を引き継いで、未来に繋いでいきたいと思えます。

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲  
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。日台文化交流青少年スカラシップ 審査員。ミス・ワールド・ジャパン審査員。著書に『夢を見て 夢を叶えて 夢になる』（致知出版社）、「まずは上司を勝たせなさい」（講談社）、「応援される人」になりなさい」（ワック）がある。